

『エヴァンゲリオン』を活用した誘客促進事業が 「コンテンツ地方創生拠点」に選定されました！

浜松市が推進する『エヴァンゲリオン』を活用した誘客促進事業が、3月19日に内閣府で開催されたクールジャパン戦略会議において「コンテンツ地方創生拠点」に選定されました。本市がこれまで取り組んできたアニメーション等のコンテンツ活用による地域活性化策が全国的なモデルケースとして高く評価されたものです。

1 選定された事業内容

本市では、映画『シン・エヴァンゲリオン劇場版』の劇中で登場する「第3村」のモデル地の一つである天竜二俣駅を核に、官民連携して市内全域を盛り上げる「シン・ハママツ計画」を展開してきました。市内周遊事業を実施することで地域の観光消費額を増加させ、物価高騰の影響を受ける地域観光業の活性化を図ることを目的としています。

《主な取り組み》

- ・天竜二俣駅のシンボル化
- ・人類乗車計画スタンプラリー
- ・エヴァ浜松グルメミッション
- ・コラボグッズの開発販売 など



2 選定結果一覧

選定された他自治体等の取り組みについては、以下のサイトに掲載されています。

○コンテンツ地方創生拠点好循環プランのサイト

https://www.cao.go.jp/cool_japan/koujunkan.html

○クールジャパン戦略会議のサイト

https://www.cao.go.jp/cool_japan/kaigi/cj_strategy/cj_strategy_kaigi.html

「コンテンツ地方創生拠点」とは

内閣府がアニメ、マンガ、映画、ゲームなどのコンテンツ産業と地域経済の活性化の好循環につなげていくことを目指し、地域の自治体や関係事業者、コンテンツの関係事業者等が連携し、地域におけるコンテンツの魅力拡大やインバウンド誘客等、コンテンツを起点に地域資源を最大限活用した地域一体となった取組を「コンテンツ地方創生拠点」として選定し、関係省庁、自治体、関係経済界と連携して推進していくものです。